

平成24年度



業 務 報 告



公益財団法人広島市農林水産振興センター
Hiroshima City Agriculture, Forestry and Fisheries Promotion Center

(農林部 農業振興課)

目 次

I 栽培試験

- 1 軟弱野菜の栽培試験
5月まきホウレンソウ品種展示 1
- 2 環境にやさしい農業の推進
平成24年度土壌分析実績 4
- 3 効率的な生産技術の普及啓発 8
 - (1) イチゴ 広島式高設栽培の展示
 - (2) ブドウ 根域制限栽培の展示

II バイオ技術導入による優良種苗の開発・普及

- 1 園芸バイオテクノロジー導入事業の概要 9
- 2 苗の生産サイクルと供給実績 10

III 新規就農者等の研修指導

- 1 ひろしま活力農業経営者育成事業基礎研修 11
- 2 「スローライフで夢づくり」定年就農者育成事業研修 12
- 3 ふるさと帰農支援事業研修 15
- 4 チャレンジ女性農業支援事業実技研修 16

付 録

- 広島市農業振興センター気温表 17

おくづけ

I 栽培試験

1 軟弱野菜の栽培試験

5月まきハウレンソウ品種展示

1 目的

ハウレンソウは市内軟弱野菜の主要品目である。主な作付け品種は、べと病レース7までの抵抗性品種である。そこで、レース7までの抵抗性を持つとされる品種の収量・作業性などを調査し、有望品種を検討する。

2 試験方法

(1) 供試品種 (特性は、種苗会社発表データによる)

品 種	種苗会社	葉型	べと病						
			R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
ミラージュ(対照品種)	サカタ	剣葉	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
サマートップ7	中原	剣葉	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ハイドロ7	中原	剣葉	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
R7春夏の輝	トーホク	剣葉	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

(注1) ◎：抵抗性あり

(2) 耕種概要

ア は種：平成24年5月1日

イ 栽植距離：条間20cm 株間7cm

ウ 施肥量(kg/a)

	N	P	K
基肥	1.00	0.20	0.90
追肥	0.20	0.04	0.18
計	1.20	0.24	1.08

(3) 調査項目

作業性、草姿、葉色、生育期間、収量等

※草丈が27cmに達した株から調査

調査日：5月29日、5月30日(草丈が27cmに達した時)

調査区：1m×2反復

3 結果

- (1) すべての品種で、べと病ほか病気の発生はなかった。
 - (2) 調整重は、ハイドロ7が最も多く、次いで、ミラージュが多かった。(表1)
 - (3) 生育日数は、ミラージュ、サマートップ7、ハイドロ7が早かった。(表2)
 - (4) 葉色は、ハイドロ7が濃かった。(表2)
 - (5) 作業性は、ミラージュが他と比較して折れやすかった。
- 以上、総合的に見て、ハイドロ7が有望と思われる。

表1 収量・作業性調査

品 種	全重 (g/m ²)	調整重 (g/m ²)	1株重 (g)	出荷率 (%)	作業性
ミラージュ (対照品種)	2,877	2,525	36.1	87.7	折れやすい
サマートップ7	2,920	2,402	24.0	82.2	
ハイドロ7	3,232	2,633	30.1	81.4	
R7春夏の輝	1,745	1,512	31.8	86.0	

表2 生育調査

品 種	生育日 数 (日)	草丈 (cm)	葉数 (枚)	葉幅 (cm)	葉柄長 (cm)	葉色	
						Y	Z
ミラージュ (対照品種)	28	27.0 ~	6.2	12.0	15.2	42.2	0
サマートップ7	28		9.1	9.1	15.4	40.8	-1
ハイドロ7	28		9.2	10.0	14.7	43.4	2
R7春夏の輝	29		9.6	9.8	14.6	41.5	-1

Y: ミノルタSPADによる測定。

Z: 肉眼でミラージュ(対照品種)を0として、数値が高いほど濃い。

写真 1



ミラーージュ



サマートップ7



ハイドロ7



R 7 春夏の輝

2 環境にやさしい農業の推進

平成24年度土壌分析件数（一般農家）

区分	地区	前年度分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計		
市内農家指導用分析	安佐南区 (分析件数 310)	佐 東		11	1	1	2	5	3			1	20	29		73	
				11	1	1	2	5	3			1	19	15	15	73	
			(処理) 前年同月	5	4		2	3			2	1	15	46	36	114	
			24/23	2.2	0.3		1.0	1.7			0.0	1.0	1.3	0.3	0.4	0.6	
		安古市		7	3	9	7	17	24	9	4	1	21	3	9	114	
				7	3	9	7	17	23	8	6	1	21	3	9	114	
			(処理) 前年同月	7	4	16	21	6	15	1	10	4	1	3	3	91	
			24/23	1.0	0.8	0.6	0.3	2.8	1.5	8.0	0.6	0.3	21.0	1.0	3.0	1.3	
		祇 園		3		5		20	12	1		5		40	14	100	
				3		5		20	12	1		5		40	14	100	
			(処理) 前年同月				1		1			3	65	11	10	91	
			24/23				0.0		12.0			1.7	0.0	3.6	1.4	1.1	
	沼 田	2	8		4		2	4	1				2		23		
			10		4		2	4	1				2		23		
		(処理) 前年同月		1			2	2	9	1	5	3	6	1	5	35	
		24/23		10.0			0.0	1.0	0.4	1.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.7	
	安佐北区 (分析件数 316)	白 木	2	7		3	5	4		2	6	9	10	8	4	60	
				9		3	5	4		2	6	2	17	8	4	60	
			(処理) 前年同月				2	3	3	2	11		3		15	14	53
			24/23				1.5	1.7	1.3	0.0	0.2		0.7		0.5	0.3	1.1
高 陽		2	14	7	11	16	4	5	4	14	17	9	55	21	179		
			16	7	11	16	4	5	4	14	11	15	50	21	174		
		(処理) 前年同月		1	7	6	14	8	7	2		6	6	5	21	83	
		24/23		16.0	1.0	1.8	1.1	1.1	0.5	2.0		1.8	2.5	10.0	1.0	2.1	
可 部			1	2		2	14	5	3	18	1	6	3	1	56		
			1	2		2	14	3	5	18	1	6	3	1	56		
	(処理) 前年同月				3	2	5	4	11	12	38	11	10	4	100		
	24/23				0.0	1.0	2.8	0.8	0.5	1.5	0.0	0.5	0.3	0.3	0.6		

市内農家指導用分析	安佐北区	安 佐				1		3	3			6	6	2	5	26
						1		3	3			6	6	2	5	26
		(処理) 前年同月		1		2		1	7	3				4	6	24
		24/23		0.0		0.5		3.0	0.4	0.0				0.5	0.8	1.1
	安芸区			7	2		7	13		8	19		2	11	1	70
				7	2		7	13		8	19		2	11	1	70
		(処理) 前年同月		3	3		1	18	1	12	2			4	1	45
		24/23		2.3	0.7		7.0	0.7	0.0	0.7	9.5			2.8	1.0	1.6
	佐伯区			3	6	4	5	15	7	9	7	14	9	16	17	112
				3	4	6	5	15	7	9	7	14	9	16	17	112
		(処理) 前年同月		2	16	8		9	15	2	4	25	33	31	17	162
		24/23		1.5	0.3	0.8		1.7	0.5	4.5	1.8	0.6	0.3	0.5	1.0	0.7
	東西南中区			22	16	14	2	41	27	4	2	2	5	2	36	173
				21	17	14	2	41	23	8	2	2	5	2	36	173
		(処理) 前年同月		4	17			7			6	7	30	24	17	112
		24/23		5.3	1.0			5.9			0.3	0.3	0.2	0.1	2.1	1.5
小 計		6	83	37	52	46	138	90	41	70	56	88	171	108	986	
			88	36	54	46	138	83	46	72	43	100	152	123	981	
	(処理) 前年同月		24	51	37	46	62	61	43	41	90	167	154	134	910	
	24/23		3.7	0.7	1.5	1.0	2.2	1.4	1.1	1.8	0.5	0.6	1.0	0.9	1.1	
試験研究用分析	センター内			6	3	21	21	13	6	4				5	18	97
				6	3	20	22	13	6	4				5	18	97
		(処理) 前年同月		7		1	3	10	9	2	5	3	15		55	110
		24/23		0.9		20.0	7.3	1.3	0.7	2.0	0.0	0.0	0.0		0.3	0.9
	そ の 他			2		1				1			1			5
				2		1				1			1			5
		(処理) 前年同月			2	4					13				3	22
		24/23			0.0	0.3					0.0				0.0	0.2
小 計			8	3	22	21	13	6	5	0	0	1	5	18	102	
			8	3	21	22	13	6	5	0	0	1	5	18	102	
	(処理) 前年同月		7	2	5	3	10	9	2	18	3	15		58	132	
	24/23		1.1	1.5	4.2	7.3	1.3	0.7	2.5	0.0	0.0	0.1		0.3	0.8	
合 計		6	91	40	74	67	151	96	46	70	56	89	176	126	1,088	
			96	39	75	68	151	89	51	72	43	101	157	141	1,083	
	(処理) 前年同月		31	53	42	49	72	70	45	59	93	182	154	192	1,042	
	24/23		3.1	0.7	1.8	1.4	2.1	1.3	1.1	1.2	0.5	0.6	1.0	0.7	1.0	

上段：依頼件数、下段：処理件数

平成24年度土壤分析件数（土ドック、認定農業者）

区分	地区	前年度分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計		
市内農家指導用分析	安佐南区 (分析件数83)	佐 東														0	
		(処理) 前年同月											3	3	7	13	
		24/23											0.0	0.0	0.0	0.0	
		安古市				3						6	8	1	1	19	
		(処理) 前年同月		2		3						6	8	1	1	19	
		24/23		0.0										0.5		4.8	
		祇 園															0
		(処理) 前年同月					1						2	2		5	
		24/23					0.0						0.0	0.0		0.0	
		沼 田		2	18	3	4		2	10	6			15	4	64	
		(処理) 前年同月		2	18	3	4		2	10	6			15	4	64	
		24/23		10	16	12	9	16	13	15	3	3			40	137	
	24/23		0.2	1.1	0.3	0.4	0.0	0.2	0.7	2.0	0.0			0.1	0.5		
	安佐北区 (分析件数753)	白 木	8	33	57	32	48	45	51	52	71	15	54	42	21	529	
		(処理) 前年同月		41	40	49	42	51	43	45	79	21	52	45	21	529	
		24/23		53	45	45	38	33	36	42	27	20	33	33	45	450	
		24/23		0.8	0.9	1.1	1.1	1.5	1.2	1.1	2.9	1.1	1.6	1.4	0.5	1.2	
		高 陽														0	
		(処理) 前年同月														0	
		24/23															
可 部																0	
(処理) 前年同月																0	
24/23				2				4							6		
24/23				0.0				0.0							0.0		
安 佐			11	3	20	11	29	12	19	10	5	14	7	83	224		
(処理) 前年同月		11	3	20	11	23	16	15	16	5	14	7	83	224			
24/23		4	9	31	23	29	27	23	36	9	5	6	16	218			
24/23		2.8	0.3	0.6	0.5	0.8	0.6	0.7	0.4	0.6	2.8	1.2	5.2	1.0			

市内農家指導用分析	安芸区														0
															0
	(処理)前年同月														
		24/23													
	佐伯区								6						6
									4	2					6
	(処理)前年同月														
		24/23													
	東西南中区														0
															0
	(処理)前年同月														
		24/23													
合計		8	46	78	58	63	74	65	87	87	26	76	65	109	842
		0	54	61	75	57	74	61	74	103	32	74	68	109	842
	(処理)前年同月		69	72	88	71	78	80	80	66	32	43	46	108	833
	前年比		0.8	0.8	0.9	0.8	0.9	0.8	0.9	1.6	1.0	1.7	1.5	1.0	1.0

上段：依頼件数、下段：処理件数

3 効率的な生産技術の普及啓発

(1) イチゴ 広島式高設栽培の展示

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
					△						

- ア 品 種 とちおとめ
 イ 定 植 平成 24 年 9 月 27 日
 ウ 栽植距離 幅 20cm、長さ 10.5m のベッド 4 基(株間 15cm 1 条植え)
 エ 用 土 ココピート
 オ 施 肥 元肥：土肥これだけスパー 3.8g/株 追肥：大塚液肥 1、2 号
 カ 電照期間 平成 24 年 11 月 15 日～平成 25 年 1 月 31 日
 キ 収穫期間 平成 24 年 12 月 26 日～平成 25 年 6 月 12 日
 ク 温度管理 最低気温 8℃
 ケ 太陽熱消毒 平成 24 年 7 月 2 日～平成 24 年 9 月 4 日

(2) ブドウ 根域制限栽培の展示

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
					△						

- ア 品 種 ピオーネ、瀬戸ジャイアンツ、ゴルビー
 イ 植 付 平成 18 年 3 月 17 日
 エ 施 肥 元肥、追肥：リン硝安カリ S 6 0 4 450 g/株、微量元素資材 384g/株
 オ 土壌水分 pF = 1.5 ~ 2.2

Ⅱ バイオ技術導入による優良種苗の開発・普及

1 園芸バイオテクノロジー導入事業の概要

(1) 目的

バイオ技術を導入し、野菜や花きの地域特産物を対象に優良種苗を開発・普及し、生産性の高い産地の育成を図る。

(2) 実施期間

昭和 61 年度～

(3) 事業内容

- ① 生長点培養技術を活用し野菜・花きのウイルスフリー化による品質及び生産力の向上
- ② 大量増殖技術を利用した種苗の安定供給

(4) 方針

- ① 認定農業者等、生産農家にバイテク苗を供給し、経営の安定化を図る。
- ② 指導機関と連携して、農家での積極的な活用を図ることにより、産地の維持・発展を図る。

対象者：市域内の認定農業者、生産農家等

実施区分	野菜	花き
苗の生産・供給	フキ	9 5 0 株
	サツマイモ	2, 6 4 0 株
	水前寺菜	3 9 0 株
	深川早生芋	7 2 0 株
	ウルイ	9 0 株
計	4, 7 9 0 株	—

2 苗の生産サイクルと供給実績

(1) フキ

10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		S						J	==		

ア 品 種 愛知早生、水ブキ

イ 供給先 佐伯区

(2) サツマイモ

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
				S					J		==

ア 品 種 鳴門金時、ベニアズマ、種子島紫、コガネセンガン、ベニハヤト

イ 供給先 西区

(3) 水前寺菜

10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	S				J		==				

供給先 安佐南区、安佐北区、安芸区、佐伯区、東区

(4) 深川早生芋

10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
					J		==				S

供給先 佐伯区、安佐南区、安佐北区、安芸区、東区

(5) ウルイ

10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
S					J		==				

供給先 安佐北区、安芸区、安佐南区、佐伯区

凡例 S : 増殖開始 J : 順化 == : 出荷

Ⅲ新規就農者等の研修指導

1 ひろしま活力農業経営者育成事業研修

1 目的

新規就農者が安定的な農業経営を開始するため、実用的な農業技術や栽培に必要な基礎を習得させる。

2 研修期間

新規就農者（研修生）：3名

研修期間：平成24年4月～平成25年3月

3 研修内容

(1) 学科カリキュラム

栽培に必要な基礎知識と経営管理の能力を養う。

- ・ 野菜栽培の基礎
- ・ 土壌、肥料
- ・ 病害虫
- ・ 施設園芸
- ・ 農業経営
- ・ 流通

(2) 実習カリキュラム

軟弱野菜の栽培準備から出荷・片付けまでの一貫した作業を行うことにより、栽培技術や経営技術を習得する。（研修ほ場：広島市農業振興センター内 パイプハウス1a×9棟）

- ・ 土壌管理
- ・ ハウス管理
- ・ 栽培管理
- ・ 出荷調整
- ・ 農業機械の保守と使用方法（運搬車、トラクター、管理機、は種機、防除機、結束機、袋詰め機、予冷庫）
- ・ 栽培実績

品目：コマツナ、ホウレンソウ、シュンギク、ミズナ、ネギ

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12～3	合計
作付回数	7	7	7	8	8	7	7	6	13	70回
出荷回数	18	17	13	17	19	14	13	16	55	182回
出荷数量	150	225	128	114	148	160	87	54	345	1,411箱

■：本センターほ場研修、8月：農家派遣研修、12～3月：ハウス建設研修

(3) 視察調査

市内優良農家、先輩就農者のほ場視察

2 「スローライフで夢づくり」 定年就農者育成事業研修

1 目的

農地を持っていない人が定年後就農する上で、必要となる基本的な栽培技術の習得を目標に、野菜栽培等の基本的な作業及び農業機械の基本操作を実習する。

2 研修期間

研修生：4名

平成24年4月～平成25年3月

(原則として週3日、月水金曜日、午前9時～午後3時)

3 研修場所

センターほ場(露地)

4 研修実績

(1) 販売実習：ひろしま朝市、センター直売所での販売技術の習得、市場出荷技術の習得

(2) 講義：主な野菜及び花き、防除及び土壌の基礎知識の習得等

講義項目	実施日	内容
防除施肥の基礎(1)(2)	6/13, 10/17	(1)防除の概要について(物理的、化学的、生物学的防除) (2)農薬の使用について
土壌の基礎(1)(2)	1/9, 3/8	(1)土壌診断 (2)肥料の成分と過不足症状について
主な野菜及び花きの基礎 (1)(2)(3)(4)	6/8, 8/8 11/26, 2/1	(1)果菜類の栽培について(トマト, キュウリ, ナス, ピーマンなど) (2)葉菜類の栽培について(キャベツ, ハクサイ, レタスなど) (3)(4)平成24年度栽培品目の実績と考察
農業経営(2回)	1/16, 2/18	(1)税務研修、 (2)簿記記帳の基礎、決算書の作成の仕方
農業気象	3/8	気象災害の発生機構と対策 気候条件から見た作季計画
農産加工	12/17	農産物の製造開始に伴う届出や食品加工 コンニャク作り、広島菜・ハクサイの漬物
果樹の栽培について	1/21	果樹(ブドウ等)の栽培について
鳥獣害対策の基礎	1/28	広島市における鳥獣害の現状と対処法について
農業関係法令	12/10	農地賃借等に関する法律について
農業協同組合	1/18	農協の役割や活用
農業機械	2/4	ミニ耕うん機の種類と機能について

(3) 栽培実習：肥培管理、農機具の操作技術の習得等

平成24年度 スローライフ、ふるさと、チャレンジ研修科目・品種(実績)																											
品目	品種	は種(定植)(月) ※計画	実績	収穫時期(月) ※計画	実績	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	栽植距離 (cm)				施肥量 (N量) (kg/a)		備考			
						月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	間	株	間		条	数	基肥
トマト	桃太郎T93	3上 (5上)	2/28 (4/26)	6~8	6~8	△	■	■	■	■								150	40	-	-	1.2	1.4	ハウス育苗			
中玉トマト	レッドオーレ																										
ミニトマト	千果 イエローミミ																										
キュウリ	Vロード シャキット(四葉系)	4上 (5上)	4/26 (5/16)	6~8	6/10 ~8/7	○	△	■	■	■	■							150	70	-	-	2.5	2.5	ハウス育苗			
	Vロード シャキット(四葉系)	6下 (7中)	7/2 (7/18)	8~9	8/10 ~9中		○	△	■	■	■																
	あそみどり5号 夏秋節成り	7下 (8中)	8/4 (8/20)	8~10	9中 ~9下			○	△	■	■																
カボチャ	栗坊・坊ちゃん	4上 (5上)	4/26 5/16	7~8	7下~	○	△	■	■	■	■							300	100	-	-	1	0.6	ハウス育苗			
ズッキーニ	ダイナー	4中 (5上)	5/1 (5/17)	7~8	6上 7/20	○	△	■	■	■	■							150	80	-	-	1.5	1.2	ハウス育苗			
ゴーヤ	長れいし	4下 (5下)	5/1 (5/29)	7~9	7~9	○	△	■	■	■	■							150	100	-	-	1.5	2	ハウス育苗			
マクワウリ	金太郎	4上	4/26 (6/6)	7~8	8上中	○	△	■	■	■	■							250	100	-	-	1.5	0.4	ハウス育苗			
ナス	筑陽	(5上)	(4/27)	6~10	6上 10/20	△	■	■	■	■	■							200	80	-	-	2	3				
	美男(水なす)																										
	庄屋大長																										
ピーマン	京波(中) ちぐさ(大)	2下 (5上)	2/22 (5/8)	6~10	6上 10/20	△	■	■	■	■	■							180	60	-	-	2	3	ハウス育苗			
ししとう	ししとう	2下 (5上)	2/22 (5/8)	6~10	6上 10/20	△	■	■	■	■	■							180	60	-	-	1.5	1.5	ハウス育苗			
ネギ	ホワイトスター なべちゃん 赤ひげ	4上 (6上)	3下 (5/14) (6/1)	12~2	11/9 2末	○	△	■	■	■	■							120	3~5	-	-	1	1.8				
ラッカセイ	大粒落花生	5中	5/1 (5/14)	10	-	○	△	■	■	■	■							120	30	-	-	1	1				
スイートコーン	ゴールドラッシュ86	3下 (4中)	3/19 (4/6)	6下	6/27 ~	○	△	■	■	■	■							120	30	40	2	2	0.4	初期ユースラック			
	味来390 キャンベラ90	4上 (4下)	4/10 (4/26)	7上中	7/6 7/12	○	△	■	■	■	■																
		5上 (5下)	5/18 (5/28)	7下	8/3~	○	△	■	■	■	■																
エダマメ	早生緑大英	3中・下 (4上・中)	3/19 (4/6) 4/9 (4/20) 6/5 (6/14)	6	6/22 7/15 8/14	○	△	■	■	■	■													初期トンネル			
	湯あがり娘	4上・下 (4下・5上)	3/29 (4/13) 4/24 (5/7)	7上	7/6 7/20	○	△	■	■	■	■							120	20	40	2	0.5	0.4				
	ゆかた娘	5上・中 (5上・6中)	5/13 (5/25)	7下 8上	8/1	○	△	■	■	■	■																
	黒真珠	6上・下 (6下・7中)	5/28 (6/10) 6/5 (6/14)	8中下	8/10 8/10	○	△	■	■	■	■																
オクラ	エメラルド 広島おくら	4下 (5中)	5/1 (5/21)	6~10	7/6~ 10/20	○	△	■	■	■	■							140	30	チドリ	-	1	1				
キャベツ	輝・トンガリボウシ	7下 (8中)	7/26 (8/21) 8/7 (9/10)	11	10/17 ~ 10/31 ~				○	△	■	■	■	■	■	■											
	あまだま	8上 (9上)	8/17 (9/20)	12~1	12中~				○	△	■	■	■	■	■	■											
	湖水	8下 (9中)	8/24 (9/20)	1~2	1上~				○	△	■	■	■	■	■	■											
アオネギ	鴨頭	9上	-	12	-				○	△	■	■	■	■	■			120	-	40	2	0.6	1.4				
インゲン	ケンタッキー101 (つるあり)	7下 (8上)	7/25	9	9/12 10/29				○	△	■	■	■	■	■			120	40	-	-	1.2	1				
レタス	キングクラウン	8下・9中 (9中・10中)	9/10 (10/16)	11~12	12下 ~1				○	△	■	■	■	■	■			120	30	30	2	2	0.5	ユースラック(11中~)			
リーフレタス	映抽レッドファイヤー グリーンジャケット	10中 (11上)	10/上 (11/6)	1~2	1下~				○	△	■	■	■	■	■			120	30	30	3	2	0.5	ユースラック			
広島菜		8下 (9中)	8/20 (9/10)	10	10/10 10/31				○	△	■	■	■	■	■			120	40	40	2	1.5	1.2				

3 ふるさと帰農支援事業研修

1 目的

農地を持っている人が定年帰農する上で、必要となる基本的な栽培技術の習得を目標に、野菜栽培等の基本的な作業及び農業機械の基本操作を実習する。

2 研修期間

研修生：14名

平成24年4月～平成25年3月

(まだ勤続中の人は日曜午前の実習および講義等、定年後の人は木曜午前の実習及び講義等)

3 研修場所

センターほ場(露地およびハウス)

4 研修実績

(1) 講義および視察：主な野菜及び花き、防除及び土壌の基礎知識の習得、先進農家視察等

講義項目	実施日	内容
主な野菜及び花きの基礎(1)	4/25	豆類等の栽培について(エダマメ、トマト、スイートコーン)
農業関係法令	5/16	農地に関する法律について
主な野菜及び花きの基礎(2)	5/23	果菜類等の栽培について(キュウリ、ナス、ピーマン、オクラ)
先進農家視察(1)	6/3	安佐南区八木地区農家
主な野菜及び花きの基礎(3)	6/6	軟弱野菜等の栽培について(コマツナ、ホウレンソウ、小菊、トルコギキョウ)
市場視察	6/22	広島中央卸売市場(野菜、花き)での概要説明等
病虫害防除	7/4	防除の概要について(物理的防除、化学的防除、生物的防除)、農薬の使用について
先進農家視察(2)	7/8	安佐北区高陽地区農家
土壌肥料	8/22	土壌診断、肥料の成分と過不足症状について
先進農家視察(3)	9/9	安佐南区沼田地区農家
鳥獣害対策の基礎	9/12	広島市における鳥獣害の現状と対処法について
主な野菜及び花きの基礎(4)	9/26	葉菜類等の栽培について(ダイコン、ハクサイ、キャベツ、ばれいしょ、ニンジン)
農産加工	10/9	農産物の製造開始に伴う届出や食品加工
主な野菜及び花きの基礎(5)	10/10	野菜栽培の基礎、広島菜、笹木三月子、矢賀ちしゃ、リーフレタス、タマネギの栽培について
販売体験	10/27, 28 11/11	フードフェスティバル、ひろしま朝市、とれたて元気市
先進農家視察(4)	12/2	安佐北区可部地区農家
農業簿記	1/16	簿記記帳の基礎、決算書の作成の仕方について
先進農家講義	3/10	安佐北区高陽地区農家

(2) 栽培実習：スローライフと同じ

4 チャレンジ女性支援事業研修

1 目的

農家女性が、農業に必要となる基本的な栽培技術の習得を目標に、野菜・花き栽培等の基本的な作業及び農業機具の基本操作を実習する。

2 研修期間

研修生：4名

平成24年4月 ～ 平成25年3月

(毎週火曜午前の実習及び講義・視察等)

3 研修場所

センターほ場 (露地およびハウス)

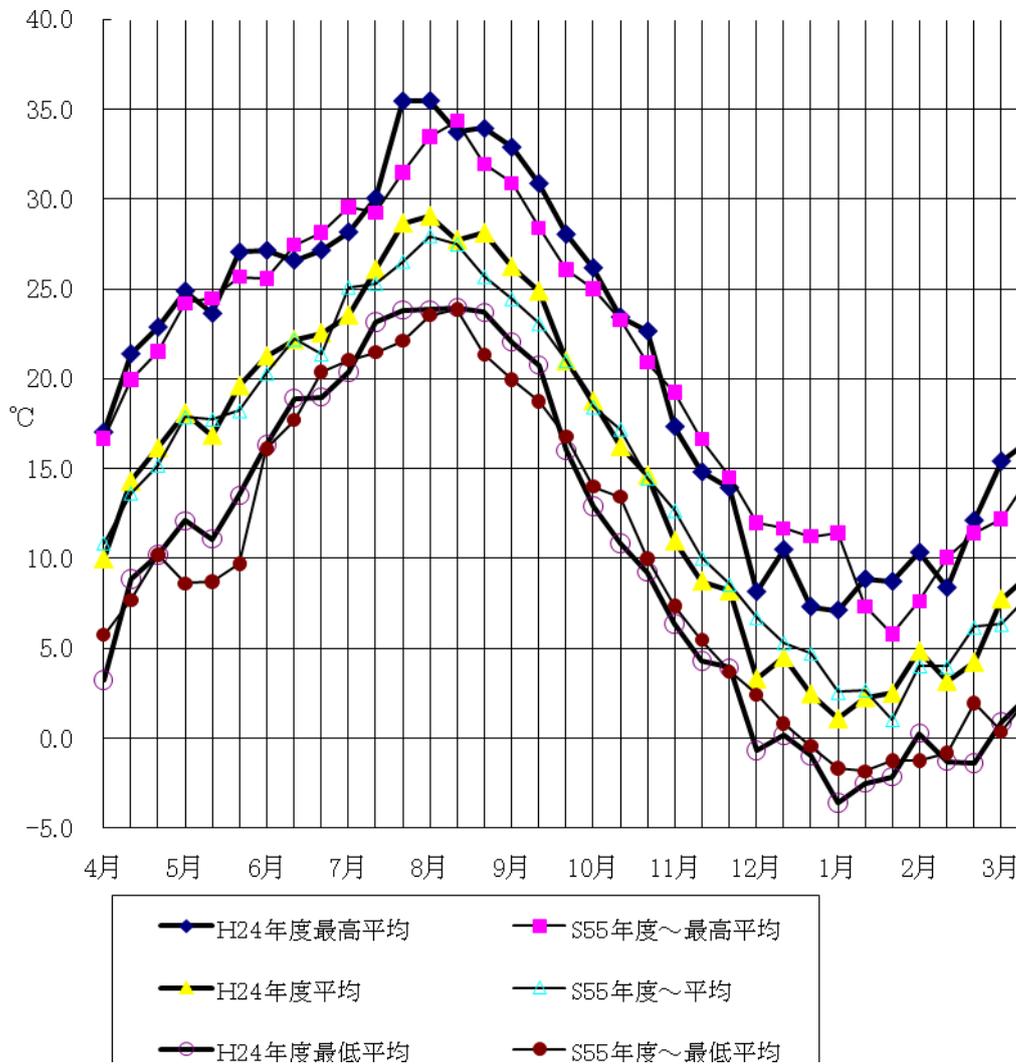
4 研修実績

(1) 講義および視察：ふるさと帰農と同じ

(2) 栽培実習：スローライフと同じ

付録

広島市農業振興センター 気温表



観測地：広島市安佐北区深川八丁目 30 番 12 号（標高 60m）

- ・平成 24 年度 最高気温記録日 平成 24 年 8 月 16 日・ 36.9℃
- ・ 同 最低気温記録日 平成 25 年 1 月 27 日・ -5.9℃
- ・ 同 年度平均気温 14.7℃（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）
- ・昭和 55 年～ 同 14.6℃

名	称	平成24年度業務報告
主 所	管 在 課 地	公益財団法人広島市農林水産振興センター農業振興課 〒739-1751 広島市安佐北区深川八丁目30番12号 TEL(082)842-4421, Fax(082)842-2149 http://www.hiroins-net.ne.jp/hiroagri/
発 行 年 月		平成25年6月